

認定No.	第13号
件名	旧竹内農場赤レンガ西洋館及び竹内家文書 (きゅうたけうちのうじょうあかれんがせいようかんおよびたけうちけもんじょ)
認定年月日	令和2年1月22日
所在地	龍ヶ崎市若柴町字長山前2240番地46
所有者等	龍ヶ崎市
解説	<p>竹内農場は、明治から大正期にかけて我が国の実業界を牽引した竹内明太郎(1860～1928)が自身の経営する炭鉱で働く鉱員への食料供給のために開発した農場であり、赤レンガ西洋館はその敷地内に明太郎の別荘として大正9年(1920年)に建てられたものである。</p> <p>東京駅丸の内駅舎など有名な建物と同じ上敷免製のレンガが使用されており、さらに、単なる西洋風の住居ではなく、土間や瓦屋根など日本家屋の要素を備えている点や、建物西側部分が蚕室として造られていた点など、個性的な特徴を有している。</p> <p>また、明太郎の子孫にあたる方が所蔵していた一連の資料の中には、日本初の公園デザイナーで公園行政官のパイオニアとされる長岡安平の描いた庭園設計図をはじめ、赤レンガ西洋館竣工時の写真など貴重なものが数多く残されている。</p>
	 <p>▲現在の旧竹内農場赤レンガ西洋館の様子</p>  <p>▲大正3年(1914年)に描かれた「竹内家農園内庭園設計図」</p>